

津久見商工会議所“環境アクションプラン”

<2021～2023年度 3年間>



1. 基本方針

脱炭素、2050年カーボンニュートラルの実現を目指すため、事務局内での環境対策活動の推進、地域・行政と連携し会員事業所の取組みを支援することで、脱炭素・SDGsを実現する地域社会を目指す。

2. 実施体制・達成目標の検証

事務局長を責任者に部署を横断した環境アクションプランチーム（課長を含む5名程度）を創設し推進する。

半期ごとに具体的な数値を検証、修正も含めて対策活動を行い、最終年度末を経て実施事項・達成内容を総括し、常議員会にて報告する。

3. 実施事業

（1）会員事業所の取組みへの支援

①会員事業所のCO2排出量の実態把握を支援するため、日商「CO2チェックシート」の周知（導入目標年間10社）、国・県・市など行政が取り組む環境関連施策（エコアクション21等）のPR・啓発推進に取り組む。

②国（経済産業省・環境省）の支援制度（補助金）の広報周知と計画策定・申請・実施に向けた支援に取り組む。

③好事例の視察見学会の実施、津久見PtG研究会を中心にメタネーション化について先進的取組みを進めている、太平洋セメント株式会社藤原工場（三重県いなべ市）や、県エネルギー産業企業会水素関連産業分科会の関係施設を視察する。

（2）地域・行政等と連携した取組みの推進

①会員事業所が地球温暖化対策に取り組むため、津久見市の策定した「第2次津久見市環境基本計画」等の広報周知に協力、必要に応じて支援施策等を要望する。

②津久見市環境審議会（会頭）、環境市民会議（専務理事）、日商エネルギー・環境専門委員会（会頭）へ参画する。

（3）事務局内の環境対策活動の推進

①職員への教育訓練

・勉強会を年1回以上開催し、職員の意識向上を図る

②エネルギー（電力・ガス・水道）使用量の削減

- ・クールビズ、ウォームビズの実施
- ・効率的換気を行いながら、事務室や会議室の空調温度を適切に設定
- ・待機電力の削減や会館内での不要時消灯の徹底
- ・定期的な漏水点検・エアコンフィルターの掃除の実施

③廃棄物排出量の削減、リサイクル

- ・ごみの分別回収による再資源化と減量化、両面コピーや裏紙利用によるリサイクル推進、再生紙（古紙配合率70%以上）の使用を徹底
- ・所内メール転送での共有化や資料の電子化による紙使用量を削減
- ・職員のマイボトル・カップ持参により、使い捨て商品の利用量削減

※別紙において事務局内の環境対策活動の具体的な取組みを記載

職員への教育訓練	津久見市“出前講座”の利用 環境保全課「ゴミの分け方・出し方」、上下水道課「水道のしくみ」「下水道のしくみ」 津久見市地球温暖化対策実行計画等の概要について資料配布・説明
エネルギー使用量削減	<p>冷暖房機の使用時は事務室や会議室の室温が、夏 28℃・冬 20℃程度となるよう空調温度を設定する。</p> <p>冷暖房使用期間中は、月初めミーティング後の清掃時にエアコンフィルターの掃除を行う。</p> <p>職員の服装はクールビズ・ウォームビズ（ひざ掛け等）を推奨、夏季は窓やドアの開放、すだれ・ブラインドの使用で冷暖房機の使用を必要最小限にする。</p> <p>一定時間（90分を目安）外出・会議等で離席し、PCを使用しない場合はシャットダウンする。</p> <p>PCの電源管理により、一定時間経過後（省電力）にディスプレイの電源オフ・スリープ機能を設定する。</p> <p>会館内での不要場所（不使用な部屋・トイレ）の消灯、早朝出勤・残業時の照明等の制限使用、休業（日）時の電化製品の主電源オフ（待機電力の見直し）を徹底する。</p> <p>近場への一人での外出は、徒歩や自転車・原付を出来るだけ使用する。</p> <p>公用車の使用はエコドライブ（急発進・急加速や空ぶかしの排除、駐停車中のエンジン停止）の励行や、同じ方向（目的）の場合は乗合（依頼）を検討する。</p> <p>トイレ用擬音装置を利用し、節水を励行する。</p>
廃棄物排出量削減 リサイクル	<p>メールでの受付文書等、閲覧で済む分は転送対応し、プリントアウトしての回覧文書を減らす。</p> <p>内部での打合せ会議で配布する資料の枚数は最小限にする、デジタル化により会議資料等の削減を図る。</p> <p>片面使用済みの用紙を1か所にストックし、専用プリンターにて内部資料等に出来るだけ再利用する。</p> <p>不必要な印刷をしないよう、印刷プレビューで確認したうえで印刷する。</p> <p>再資源化を意識し分別収集（裏紙利用箱・リサイクル用紙箱・プラ等指定ごみ袋の利用）を意識する。</p>
そ の 他	<p>漏水・電化製品・空調設備室外機の定期点検の励行</p> <p>車両・OA・家電品等の購入時には低燃費、エネルギー効率（グリーン購入）を意識・検討する</p> <p>各種使用料（水道・電気・ガス・電話・FAX・コピー・用紙・ガソリン）を月単位で「見える化」し、意識付けをする</p>